

〔ねらい〕

- 始筆・送筆・終筆に気をつけて書く。
- 用紙（半紙）の中心に気をつけて書く。

〔指導のポイント〕

- ・ 半紙を折るなどして16分割すると書きやすい。
 - ・ 始筆・送筆・終筆の筆先の向きが※45度になるように書くことが基本となる。
 - ・ 横画と縦画のみで構成される文字なので、始筆・送筆・終筆が「トン・スー・トン」のリズムで書く。一般的に送筆「スー」部分が速くなったり、終筆「トン」を確実に行わなかったりする児童が多く見られるので、丁寧に指導をしていく必要がある。
- ※ 45度の角度は、「10時半の時の時計の短い針の向き」や「折り紙の対角線で半分に折った時の角度」と言ったりすると分かりやすい。

「王」…一画目は、半紙の横の長さの半分の長さを目安に書きます。やや右上がりに書きます。二画目は、用紙の中心から真っ直ぐ下に引きます。接筆を正しく書きます。（浅く接する。）縦画は、真下に進むにつれ、筆の向きと力加減の関係で、次第に細くなっていきます。三画目は、一画目と平行で一画目とほぼ同じ長さに書きます。三画目は、二画目の真ん中をより上に書きます。四画目もやや右上がりに書きますが、肘を中心とした腕の動きから、次第に右下がりになり、弧を描くような線になります。

学
校
名

氏

名

3 筆の持ち方

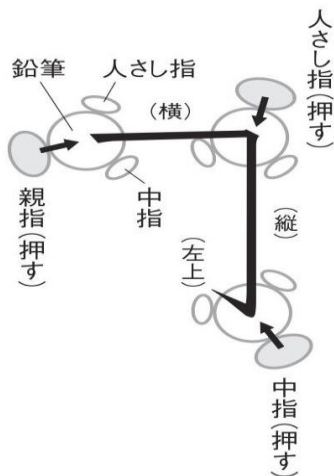
筆は、親指のつけ根と筆の間に指が2本入るくらいにして、力を入れずに持ちます。

左上	縦	横	線の方向
ブレイキ	ハンドル	アクセル	親指
ハンドル	アクセル	ハンドル	人さし指
アクセル	ブレイキ	ブレイキ	中指

〔指1本がけ〕



〔指2本がけ〕



線の方向と指の動きの関係図

右肘は机につけないようにする

おなかと机の間をにぎりこぶし1つつあける

背筋を伸ばす

背中と机の間をにぎりこぶし1つつあける

左手のひらで半紙をおさえる

